

かごしま近代文学館

クイズ



Q1、歴史小説家・海音寺潮五郎が敬愛してやまなかった人物は？

- 1 徳川家康
- 2 西郷隆盛
- 3 東郷平八郎

Q2、作家・林芙美子の小説『浮雲』。物語の舞台になっている
鹿児島県の島は？

- 1 屋久島
- 2 徳之島
- 3 奄美大島

Q 3、児童文学作家・椋鳩十の代表作は？

- 1 「正造爺さんと雁^{がん}」
- 2 「大造爺さんと雁」
- 3 「篤造爺さんと雁」

Q 4、作家・梅崎春生の文壇デビュー作は？

- 1 「種子島」
- 2 「屋久島」
- 3 「桜島」

Q 5、作家・島尾敏雄の代表作は？

- 1 「生の^{とげ}棘」
- 2 「愛の棘」
- 3 「死の棘」

Q 6、作家・向田邦子が鹿児島に住んでいたのはいつ頃？

- 1 小学校3～5年生
- 2 中学校1年生
- 3 高校2年生

Q 7、作家・有島武郎、有島生馬、里見^{とん}淳の兄弟が活躍した雑誌は？

- 1 赤松
- 2 青梅
- 3 白樺

Q 8、2018年に20回を迎えた「南九州市かわなべ青の俳句大会」。

顕彰されている俳人は？

- 1 福永耕二
- 2 正岡子規
- 3 松尾芭蕉

Q9、「いのち短し恋せよ乙女」のフレーズで知られる「ゴンドラの唄」。作詞した歌人は？

- 1 与謝野晶子
- 2 吉井勇
- 3 山口誓子

Q10、詩人・黒田三郎がH氏賞を受賞した詩集は？

- 1 『もっと高く』
- 2 『ひとりの女に』
- 3 『小さなユリと』

こたえ

Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
2 西郷隆盛	1 屋久島	2 「大造爺さんと雁」	3 「桜島」	3 「死の棘」
Q6	Q7	Q8	Q9	Q10
1 小学校 3～5 年生	3 白樺	1 福永耕二	2 吉井勇	2 『ひとりの女に』

・Q1のこたえは、2の西郷隆盛！ 歴史小説家・海音寺潮五郎は、西郷隆盛の史伝を執筆することをライフワークとするほど、西郷隆盛のことが好きで好きでたまらなかったそうです。

・Q2のこたえは、1の屋久島！ 『浮雲』は、第二次世界大戦下、義弟との不倫関係を清算するべく仏印に渡ったゆき子とそこで出会った農林研究員の富岡の物語です。終戦後再会した二人は、新天地を求め、屋久島に辿り着きます。作者の林芙美子は幼少期を鹿児島で過ごしたこともあります。

・Q3のこたえは、2の「大造爺さんと雁」！ 棕鳩十は、児童文学作家としてだけでなく、鹿児島県立図書館の館長としても活躍しました。

・Q4 のこたえは、3の「桜島」！ 梅崎春生は、第二次世界大戦中、暗号特技兵として指宿、坊津など九州各地を転々とし、終戦を桜島で迎えた体験をもとに「桜島」を執筆しました。

・Q5 のこたえは、3の「死の棘」！ 島尾敏雄の「死の棘」は不倫した夫と、そのことで精神のバランスを崩した妻との壮絶な日々を描いた作品です。

・Q6 のこたえは、1の小学校 3～5 年生！ 鹿児島市立山下尋常小学校に通っていました。

・Q7 のこたえは、3の白樺！ 文芸雑誌「白樺」は、有島兄弟のほか、志賀直哉や武者小路実篤らも参加していました。

・Q8のこたえは、1の福永耕二！ ラ・サール高校時代に「ざぼん」主宰の米谷静二の下で俳句を学びました。水原秋櫻子に石田波郷の再来と期待されましたが、42歳の若さで急逝しました。

・Q9のこたえは、2の吉井勇！ 祖父の友實は薩摩藩士で、明治維新の際、西郷隆盛、大久保利通らと国事に奔走、後に枢密顧問官となった人で、勇の名付け親でもあります。

・Q10のこたえは、2の『ひとりの女に』！ この詩集は、黒田三郎が妻・光子のために綴った11篇の詩が収められています。

みんなは何問、正解できたかな？
全問正解の君は、文学博士！

